

町の話題

五代南部工業団地の 造成とその拡張 ―五代町―

五代南部工業団地(面積38・3ha)の造成は、平成9年から始まり、幾多の困難や問題点を乗り越え、平成26年に企業等に完売され、終了した。

団地造成にあたり、前橋市と五代町では「工業団地に誘致する企業は、優良な製造業運輸・倉庫業、それに関連する商業等とする」と約束した。造成を始める当時は、景気が少し陰りはじめ

ており、地元住民は「優良企業の進出で雇用の拡大につながる」と、大いに期待していた。しかし、団地が造成されても不況が続き、前橋市が優良企業を誘致しようとしても容易には進出してくれず、とても困っていたようである。そこで前橋市は、誘致対象企業の拡大を視野に入れ誘致を始めた。ところが、これが五代町の事前の約束に齟齬を

きたし、問題になった。しかし、両者が互いに打開策を話し合っている間に景気が上向いてきて、誘致企業の見通しも立つようになり、この問題は円満解決することになった。

工業団地造成後、世の中の景気に左右され、販売期間も長くなったが、平成26年には完売となり、終結を迎えたことは地元としても大変うれしく思っている。

団地完売後、景気的好調と上武道路開通による交通の利便性を考慮して、前橋市は工業団地



の拡張(面積9・3ha)を、五代町とその地権者に提案してきた。

細部にわたり、それぞれが話し合い、了承された。前橋市はこれらの対応に喜んだようである。

拡張された団地はすぐに完売となり、今は進出企業の建設が順調に進んでいる。

今後、五代町としては一層の道路や環境整備をしていただき、また団地内を散策できる、親しみのある工業団地になることを望むとともに、地域住民の雇用の拡大がより一層はかれればと思うしだいである。

五代町生涯学習奨励員

吉田 正

春夏秋冬

憂鬱な季節

小坂子町 広報ボランティア 星野清

春が来た！花が咲き、木々が芽吹き、若葉が萌たち、新一年生が、新社会人が、夢に向かって新たな一歩を踏み出す。そんなウキウキした季節を迎えた！と一般的にはなるでしょう。が、私の場合は、それとは真逆の季節到来となるのです。

幸か不幸か、うちには先祖から受け継いだ田畑があります。しかし、農作業らしいことは40年以上やっていません。年に数本の胡瓜、茄子、じゃがいもの栽培と、ほとんどがカラスの餌になってしまおうモロコシの作付けをする程度の家庭菜園のまねごとです。

畑は何か貸付地として利用していただいておりますが、問題は田んぼです。休耕地のために、草や葎などが気持ちよさそうに伸びてきます。周りの土手等を含めると

3反近くになる草刈りは、夏場は特にきついので5畝

くらいに区切って行います。作業は主に土日に行うため、最初の場所がひと回りした頃には、また刈り頃となってしまう。4月から10月頃までその繰り返しです。隣接している土地の方に迷惑とならぬ様に：それだけで半年にわたる草刈りを続けます。

「誰か草の成長を止める妙案があったら教えてくれ！！」と叫びたくなる、憂鬱な季節の始まりです。全く自然の生命力には太刀打ちできません。

作業はきついけど、運動不足の解消には丁度いいと自分自身に言い聞かせ、前向きに考えて「秋まで頑張ろう。」とはならず「本当に面倒くさい、嫌で嫌でしようがねえけどやるか(泣)」というのが本音です。

なんとも、ものぐさでやる気のない、前期高齢者の戯言でした。いよいよ今年も不毛な闘いが始まります。



4月の主な行事予定

- 4月7日(土)第11回桜観会(五代町大正用水堰堤)
- 4月21日(土)芳賀地区各種団体総会(芳賀公民館ホール)